

ふれ愛ニュース 第164号

10月1日現在	広島	小手島	手島	合計
人口男	88	24	12	124
女	105	18	9	132
合計	193	42	21	256
世帯数	141	25	21	187



発行
ふれ愛の町ひろしまをつくる会
広島コミュニティセンター
TEL 29-2030

(小手島アート作品)

TOKIOの城島茂さんが広島に！！

トリドールホールディングスが運営する丸亀製麺と人気グループTOKIOが企画した、「うどんで日本に元気を届けるキッチンカー」プロジェクトが8月30日に広島で開催され、TOKIOの城島さんが島を訪れてくれました。

城島さんは、島特産の唐辛子・香川本鷹をはじめ、丸亀市産の青ネギや瀬戸内でとれた魚の天ぷらを使い「にこまる島うどん」を完成させました。

振る舞われたうどんに舌鼓した島民からは、「うどんと本鷹の相性がいい」「天ぷらもさくさくでおいしい」など喜びの声が上がっていました。

集まった人たちの笑顔と城島さんとの楽しいひとときは、きっと島民のみならず、城島さんにとっても思い出に残る一日になったのではないのでしょうか！



瀬戸内HOT広島プロジェクト

瀬戸内国際芸術祭秋会期の期間にあわせて9月29日（木）～11月6日（日）の土・日曜日、祝日の14日間「瀬戸内HOT広島プロジェクト」が開催されています。

広島コミュニティセンターで田嶋里菜さんや丸亀市の子ども達、尾上邸で齊藤茉莉さん、島旅農園「ほとり」で松下龍平さんと松原恵美さんの作品が展示されています。3会場の内2つ以上のスタンプを集めると島の絵本がプレゼントされます。

まだご覧になっておられない方は、是非足をお運びください。



(制作・今中章乃さん)



(制作・丸亀市の子どもさん)



(制作・松下龍平さんと松原恵美さん)

器の全てが手島産

ギャラリーを持ちたいという想いで、2019年春に僕らは手島に引っ越して来ました。折角島で陶芸をするのだからと島の素材を集め実験をし始めました。

野菜の残渣や、見頃の終わった向日葵等を頂いていく中で生まれた島民との繋がりや、集めた素材を陶芸に使えるまで昇華していく時間がとても心地良く、島での焼き物作りを支えてくれました。

島に住んだからこそ出来た、器の全てが手島産の手島焼きです。

松下龍平、松原恵美

瀬戸内HOT広島プロジェクト 絵画鑑賞会

10月2日（日）広島コミュニティセンター2階と尾上邸で、広島に移住している画家の方の展示作品について語り合うイベントが行われました。

「ご来場頂きありがとうございます。ゆっくりご覧くださいね。」展示会場にお客様が来られたら私はこう声をかけ、様子を見ながら作品の解説を始めます。しかし、絵画鑑賞会を通し、先に説明をする事で作品に対するイメージを限定していた可能性がある事に気付かされました。

鑑賞会参加者の皆様は、司会の小林さんが投げかけたきっかけに対し、次々に作品への思いを話して下さいました。私はそれを聞き、意図が伝わった事に喜び、無意識の表現から感じ取られたイメージに驚き、それぞれが絵の先に見た異なる風景から新たなインスピレーションを得ました。「アートは素人だから。」とよく耳にしますが、思いをどう表現するか考え、第三者へと投げかけるという過程は言葉も絵も同じではないでしょうか。この刹那的な"制作"は、私の次の作品に影響を与えるでしょう。ただ展示して終わるのではなく、作品から鑑賞者、そして作者へと循環が起きた時間となりました。

齊藤茉莉

絵画鑑賞会のことを語る前に、このイベントが開かれたきっかけからお話しします。

瀬戸内HOT広島プロジェクトが始動した時、作品展示に絡めたイベントができないかと考えました。

展示だけでは、プロジェクトとして寂しいと思ったからです。

そこで、大学の先輩であり、HOTサンダルプロジェクト一期生の小林大悟さんにお声がけしたところ、絵画鑑賞会のご提案を頂きました。

当日は島民の方や丸亀の友達、HOTサンダル関係者の方々が来てくださったおかげで、とても活気のあるイベントになりました。

参加者の皆様が熱心に絵を見て語りあう空間は、普段は味わうことのできない特別なものになったと思います。

学生の頃、「絵画は見る人がいて初めて成立する」という言葉を聞きました。

必ずしもそうだとは思いませんが、今回のプロジェクトにおける私の作品は、見て頂くことに意味があると思っています。

会期中、できるだけ多くの方に作品をご覧いただけたら、とても嬉しいです。

田嶋里菜



(齊藤茉莉さんの作品)



(田嶋里菜さんの作品)

『なにができてよな』 No.15 島歩き 案内所便り

瀬戸内HOT広島プロジェクトの初日となる10月1日(土)、まずは体験するべきと自転車で尾上邸へと向かいました。

目指すは斉藤茉莉さんの絵画。尾上邸の古きを生かした佇まいと大胆且つ繊細な墨の世界に圧倒されました。一枚一枚の葉っぱの表情がとても豊かで風を感じさせる水墨画でした。

次に、コミュニティセンター二階の田嶋里菜さんの「やわらかい日々」温もりを感じる一冊の本の原画展です。まだ木の匂いの残る手作りの机に並べられた15枚の絵と静かに流れるバックグランドミュージックがとても素敵でした。絵の中に包まれた不思議を探すのも楽しいですよ。

青木石と海の宝物で作った光のオブジェや地上を泳ぐ海のなかまたち。作った小学生の子どもたちのワクワク・ドキドキが伝わってきます。童心に帰って遊びましょう。

三番目は「ほとり」へ。センターから歩いて行きました。手島の松下龍平さん、松原恵美さんが制作された器たちに会いました。赤と緑の香川本鷹がいい色合いで入っていたり、熟柿が一つさりげなく置かれていました。セイタカアワダチソウを使った赤みがかった器やひまわりを使った落ちついた色の器等々。「はじまりの見えるものづくり」として展示されています。

本物はとても素晴らしいです。広島で拝見出来ることに感謝申し上げます。

先日、各家庭に配って頂いた瀬戸芸のTシャツを着て、ぜひ若き芸術家の皆さんの未来ある展示会をご覧になってください。

〈 追伸 〉

スタンプラリーの3つのスタンプ。骨付きじゅうじゅうや京極くん、うちっ娘。良かったです。これも成功のひとつでしょう。

田嶋さんの島の絵本を頂きました。いい記念になりました。大事にします。

敬老の日

令和4年度のご長寿をお祝いする敬老会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になりました。今年こそは思っておりましたが、残念ながらありませんでした。

丸亀市高齢者支援課より該当される方に記念品やお祝い金が贈られました。



器が小さいのは「私」か「丼」か？ ～こぼれいくら丼に物申す～

唐崎 翔太

学生時代、北海道に住んでいた。

北海道を離れて4年。離れたからこそ、改めて「北海道=いくら」という図式が日本を席卷していることが分かるようになってきた。例えば、デパートの北海道物産展。いくらはいつても人気商品だ。

そして北海道=いくらを決定的なものとする「こぼれいくら丼」。テレビで何度この光景を見てきたのだろうか。これでもかと丼にいくらが盛られる光景に、テレビの出演者そしてお茶の間も黄色い声を上げる。そして私の胸の中からも聞こえてくるのだ。

「器が小さいだけやろ」

昔から「こぼれいくら」はもとより、「はみでるカツサンド」というようなフレーズを許容できない。私にはいくらが多い、カツが大きいのではなくて、器や器代わりのパンが小さいように見えてしまうのだ。

そもそも「こぼれ・はみでる」は、その主役の量自体に価値があったはずだ。にもかかわらず、器を小さくすることで、いくらやカツをボリュームダウンしてはいないか。

それでも「こぼれ・はみでる」が人気を博する現況は、主役の量が少なからうが「こぼれる・はみでる」ことこそが価値化されていることの証左だろう。つまり、こぼれてさえ、はみでてさえいれば、器の大きさなど全く関係ないということである。こんな悲しいことが他にあらうか？

えっ、なになに？私に言いたいことがあるって？

「器が小さい」

黙っとれ。

食改 シニアカフェ 第2回




9月22日（木）共同募金事業として今回は長い間作った事が無かったげんこつ飴を作りました。



げんこつ飴作りのプロ級の人に教えていただきながら、「懐かしいね」と言ってみんなで作りました。

予算等の関係で各地区の高齢者の全員には渡せませんでした。数名の方にお配りして、味見をしていただきました。

11 月 (霜月)

- 2日 (水) 地区民生児童委員会
 - 3日 (木) 文化の日
 - 7日 (月) 立冬
 - 9日 (水) 絵手紙の集い
 - 10日 (木) 健幸の日
 - 13日 (日) よりみち会 (立石)
 - 15日 (火) 七五三
 - 18日 (金) 移動図書 (広島)
 - 22日 (火) 小雪
 - 23日 (水) 一歩歩クラブ (江の浦) 勤労感謝の日
 - 26日 (土) 墓掃除出事 (茂浦)
さわやかロード (江の浦)
- 
- 

12 月 (師走)

- 7日 (水) 地区民生児童委員会 大雪
 - 10日 (土) 健幸の日
 - 11日 (日) 神社・お寺の掃除 (立石)
 - 14日 (水) 絵手紙の集い
 - 15日 (木) 移動図書 (広島)
 - 18日 (日) 一歩歩クラブ (江の浦)
よりみち会 (立石)
 - 22日 (木) 冬至
 - 23日 (金) お寺掃除 (金輪寺・安養寺) (手島)
 - 25日 (日) 初日の出の海岸道草刈 (手島)
 - 29日 (木) } コミュニティセンター休館
 - 30日 (火) }
 - 31日 (土) } 大晦日
- 
- 

島民の作品展示

令和4年度の広島ふれ愛まつりは中止になりました。

その代替えとなりますが、広島コミュニティセンター2階和室で手芸、絵手紙等の作品を10月21日(金)～11月6日(日)の期間、展示いたしております。

舞台発表やバザーは残念ながらありませんが、ご覧になってください。



NPO法人石の里広島

介護予防体操教室のご案内

- 11月2日 (水) 手島自然教育センター
- 11月8日 (火) 午前10時30分～
茂浦集会場
- 11月16日 (水) 午前10時30分～
デイサービスセンター
- 11月24日 (木) 午前10時20分～
コミュニティセンター
- 12月15日 (木) 午前10時30分～
デイサービスセンター
- 12月19日 (月) 午前10時30分～
茂浦集会場
- 12月21日 (水) 手島自然教育センター
- 12月22日 (木) 午前10時20分～
コミュニティセンター